

大野城市 議会だより

2020 令和2年
No.148
発行 大野城市議会
編集 広報委員会
令和2年2月15日

12
12月定例会



令和2年 第1回3月定例会 (予定)

2月21日(金)10:00～ 本会議 提案理由説明
3月3日(火) 9:30～ 本会議 代表質問・質疑・付託
各常任委員会 10日迄

本会議・各委員会は傍聴できます。
みなさまの傍聴をお待ちしています。

11日(水) 9:30～ 本会議 一般質問
12日(木) 9:30～ 本会議 一般質問
18日(水)10:00～ 本会議 報告・討論・採決



※筑紫幼稚園の園児たち

主な記事

- 委員会報告 P2～3
- 特集 『議会報告会・議場見学会』
P4～5
- 12月定例会一般質問・P6～12
- 審議結果 P13
- 意見書 P15

市民とともに歩む議会だより

次号149号

令和2年5月15日発行

あなたの写真で
議会だよりの表紙を
飾ってみませんか?
(縮切り 3月12日)

市営住宅条例の一部を改正

総務企画委員会

第74号議案

「大野城市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について」

問 入所手続き時に請書への署名を求める対象が、連帯保証人から身元引受人に変更された経緯や滞納になった場合の対応について

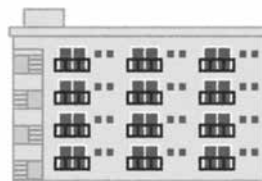
答 国から、連帯保証人を廃止するよう通知があり、それに基づき連帯保証人を条文から削除しているが、緊急時の連絡先の確保として身元引受人の条項を追記している。入居者の家賃滞納があった場合は、相続人を探し協議になる。

問 入居者の敷金を未納家賃等に充当することができる規定を設けているが、敷金の額は

答 家賃の3か月分になる。

問 条例の改正後において、市と入居者がそれぞれ負担する修繕費用について

答 改正前の畳の表がえ、ふすまの張りかえ、破損ガラスの取りかえ等、入居者が退去時に一般的な消耗品としての費用を負担していただいた。今回の条例改正に伴い、全て市の負担とする。



第75号議案

「大野城市税条例の一部を改正する条例の制定について」

問 入湯税の対象となる施設について

答 現時点では、市内には家族温泉華の湯、ホリデイスポーツクラブ大野城の2施設になる。

大野北保育所“春 開園”

福祉文教委員会

第78号議案

「工事請負契約の変更について」

問 大野北保育所の新築移転工事の工期延長ということだが、受け渡しの日程はどうなるのか。また、卒園式・入園式の時期はどうか

答 大野北保育所の工期は、3月26日の完了予定であり、開園日は4月1日までで変更はない。また、卒園式・入園式の日程に影響しないようにスケジュールを考えている。

問 建築確認済証の交付が遅延したとのことだが、委託設計業者の申請が遅れたということか。また、なぜ遅れたのか

答 委託業者の申請が遅れたものである。申請先である県土整備事務所の事前審査時の修正指示への対応などが遅くなったためである。



安心・安全な水道の供給

都市環境委員会

第76号議案

「大野城市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について」

問 条例改正に伴い「報告等」の文言が追加されているが、報告等とは何を意味するのか

答 自治体が、本条例改正に伴う「償還猶予」や「償還免除」等の判断をする際に、災害援護資金の貸付けを受けた方に資産状況等の報告を求めたり調査するという内容である。

第77号議案

「大野城市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について」

問 指定給水装置工事事業者の指定について、更新制が導入されたのは何故か

答 これまでの制度は名称や所在地の変更、事業の廃止・休止・再開等の届出について規定していたが、届出が無い場合、事業実態の把握ができなかった。事業者の資質の維持・向上を目的として5年ごとの更新制が導入された。



ふるさと納税 盛りあがり

予算委員会（補正予算）

第79号議案

「令和元年度大野城市一般会計補正予算（第5号）について」

歳入歳出それぞれ6,589万9,000円を追加し、補正後の歳入歳出予算総額を371億8,498万7,000円とするもの

問 ふるさと納税の増加理由と実質の収入金額及び取扱い委託料はどうか

答 返礼品の数を190品目位まで増やしたことが増加になった要因である。寄付額は令和元年度2億6,000万円を予測。経費（寄附金額の12%が取扱いの委託料、返礼品の代金、発送料、寄附金の受領証明書等を含む）が、それに対して1億4,358万2,000円、差引き1億1,641万8,000円である。令和元年の市民税の税額控除額合計が1億2,522万3,000円であるので、実質的な損益額は880万5,000円のマイナスと考える。

問 債務負担行為の赤ちゃん訪問ヘルプサービス事業を複数年契約にした理由と増額した金額の根拠は

答 複数年契約したのは、事業も安定し受託業者の人材確保や契約事務の軽減のためである。金額が増額したのは、年々利用時間数が増加し過去の伸び率をもとに今後3年間を算出して利用時間の増加を見込んだためである。

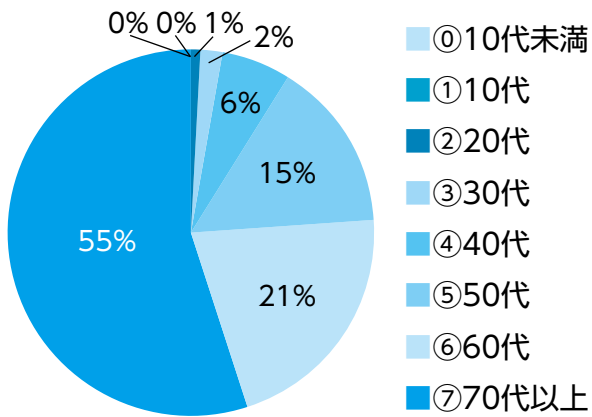
問 債務負担行為の児童生徒尿検査業務の検査内容と金額は

答 検査の内容は、1次と2次に分かれている。1次検査は尿検査でPH値、たんぱく、糖、潜血の検査を行い、PH値が8.0以上、たんぱく、糖、潜血が陽性であった人は、2次検査を行う。2次検査でも同じく尿検査を行い異常があった場合、遠心分離機による沈査という検査を行う。費用1次検査は一人当たり220円、2次検査は一人当たり225円である。

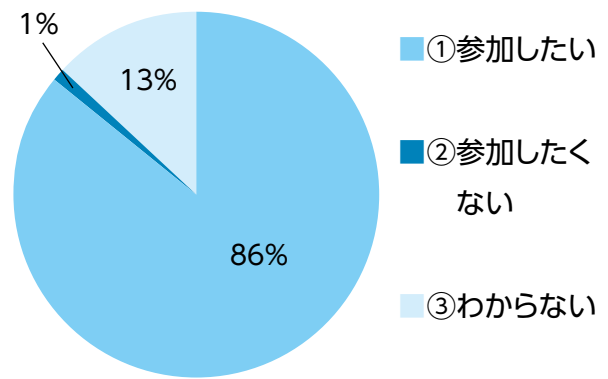
アンケート 集計

Questionnaire total

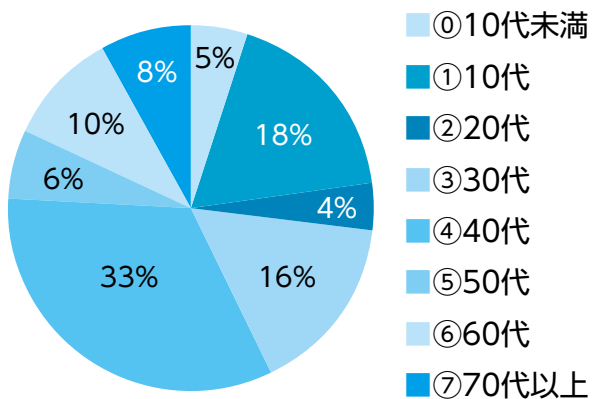
議会報告会 参加年代



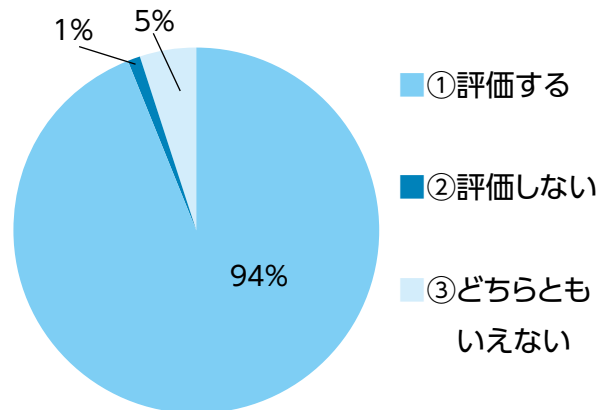
議会報告会 参加者の感想



議場見学会 参加年代



議場見学会 参加者の感想



～ 予告 ～

議会報告会の中で出た皆様のご意見に、
次回(5月15日)号より、順次回答します！

※なお、内容によっては時間を要する案件もあります。

次号を楽しみにお待ちしております！



議 会 報 告 会

中央コミ



南コミ



令和元年11月に議会報告会を4つの
コミュニティセンターで開催しました。
参加者は全体で100人でした。参加いた
だきました皆さんありがとうございました。

北コミ



東コミ



議 場 見 学 会

令和元年11月2日13時より議場見学会を開催しました。
305人にお越し頂きまして、ありがとうございました。
今年も多くの皆さんに来て頂けたらと思います。



～ これからの大野城を問う ～

一般質問

注：★がついている内容を掲載しています。なお、各議員の最後にあるQRコードから映像を見ることができます。

氏名	件名
松崎 正和	★一般質問の答弁（回答）のあり方について
森 和也	・ 障がい者福祉について ・ 大野ジョーについて ★下大利団地周辺の状況について
平井信太郎	★市庁舎の空調機の冷房温度設定の現状と設定変更による効果について ・ 航空機の影響による住環境について ・ スマートフォンの影響について
福澤 信光	★避難所の整備等について ・ 消防団員について
平田不二香	★災害時の子どもたちの安全対策について
田中 健一	★シビックゾーン基本構想について
河村 康之	★本市の障がい児・者と、その家族への支援について
松崎百合子	・ 子育て中の女性の生涯学習の保障、および社会参加や市政参画と、託児など環境の整備について ★子どもたちにとって望ましい学区制について
関井 利夫	・ 大城地区の住宅開発について ★市民公益活動促進プラットホーム事業について
神田 徳良	★健康で長生きするための取り組みについて
井福 大昌	★西鉄高架工事遅延に対する対応 ・ 法改正による所有者不明土地への課税はどうなるのか
大塚みどり	★子育て環境の課題に対する支援について

視察来庁



★防災対策について
11月20日 大阪府守口市

★学童保育について
11月22日 福岡県春日市

★コミュニティ構想について
1月7日 京都府宇治市

★ワンストップ総合窓口について
1月15日 滋賀県守山市
1月17日 静岡県沼津市
1月20日 東京都三鷹市
1月22日 滋賀県栗東市
1月24日 大阪府八尾市
1月29日 滋賀県近江八幡市
1月30日 沖縄県宜野湾市
2月 6日 東京都西東京市
新潟県三条市

★シニア大学「山城塾」について
1月16日 群馬県前橋市

★公共サービス「DOCK事業」について
1月22日 三重県津市
1月23日 静岡県長泉町

★大野城心のふるさと館について
1月24日 茨城県ひたちなか市

★大野城トレイルについて
2月4日 青森県弘前市

★議会報告会について
2月7日 長崎県対馬市



▲映像はこちら

一般質問、積極的な市長の答弁を求める

松崎 正和



問 議員の質問に対して、その多くを市長自らが答弁をした時代もあったが、現在はほとんどない。なぜ井本市長は答弁をしないのか、二元代表制の意義を含めて率直な考えを伺いたい

答 私が市長になる前から議会と執行機関において、一般質問の回答については基本的には部局長が行うという申し合わせがされていたと聞いていた。現在は、それに沿って回答している。部局長の回答は、市長が回答しても同様の回答になり、二元代表制の意義に反するものではないと考える。

問 質問通告が出されると同時に、多くの市職員が議会議務局周辺に押し寄せる。こんな光景は井本市長就任以前は見られなかった。このようなやり方が、一般質問活性化の妨げの一因になっているという認識はないか

答 以前のことはわからないし、私になって増えたか

どうかもよくわからない。事前協議は、議論の内容をわかりやすく市民の皆様伝える一助にはなっていると考えるが、活性化の妨げの一因になっているという認識はない。

問 過剰な打ち合わせの後、一部議員と執行部が発言原稿を交換しあっていると聞くと事実か

答 いつどこで誰がそういうことをやっているのか私は知らないし、とても重大な発言であろうと思う。



▲映像はこちら

下大利団地周辺の状況（避難所・信号・水路）

森 和也



問 下大利団地の避難所はどこか

答 最寄りの避難所は、下大利団地公民館、下大利小学校、中央コミュニティセンターとなる。

問 大雨により避難する場合、下大利小学校への移動は、どのようにするのか

答 大雨の際には、川から離れた場所への避難を行うよう呼びかけを行い、下大利小学校への避難は想定していない。

問 東大利3丁目8番と9番の間、県道福岡日田線の三叉路に信号機を設置して欲しいという市民の声があるがどうか

答 警察からは、歩行者が安全に横断待ちをするための滞留場所が確保できないなどの問題があるので、信号設置は困難であるという回答を受けているが、歩行者の安全確保のためにできることについて、今後も警察と協議する。

問 東大利3丁目と下大利団地の境界を走る水路

は、以前は御笠川から取水していたのか

答 水路は、以前御笠川に井堰があり農業用水として取り組んだ水を活用するために設けられた。

問 水路に傾斜をつけて、流れるようにしてもらいたい、いっそのこと埋めてもらいたいという声があるがいかがか。何か対策を考えているか

答 水路を利用しており、廃止は考えていない。流れをよくする対策は、雑草の繁茂を防止するための張りコンクリート工事、水路の勾配を確保するための工事など、その改良方法について地元と協議を進めていきたい。



水路に流れがない様子▶



▲映像はこちら

空調温度設定を下げて経費の節減ができます

平井 信太郎



問 市庁舎の冷房設定温度は何度であるか
答 市庁舎の冷房設定温度は、まどかエコ・オフィスプランに基づき28℃が目安で、令和元年度からは、温度だけではなく暑さ指数により判断して運転を行っている。まどかエコ・オフィスプランは、省エネ・節電の徹底など地球温暖化防止対策を推進する計画である。

問 令和元年7月及び8月の市職員の残業時間及び時間外費用はいかほどか

答 通常の業務による全市職員の時間外勤務の時間数は、7月と8月の合計で1万1,488時間であった。また時間外手当と休日勤務手当は、総額で約2,750万円であった。

問 姫路市は冷房温度設定を28℃から25℃に下げることによって、7～8月の総残業時間が14.3%削減し、4,000万円の人件費を削減した。光熱費は7万円の増加で、非常に大きな効果がでた。本市でも取り組むべき課題と考えるがいかがか

答 現在、まどかエコ・オフィスプランに基づき取り組みを進めている。引続き運用を行いたい。時間外勤務の縮減、時間外勤務手当等の人件費の削減は大きな課題と認識している。

問 仮に姫路市と同様の結果が出た場合、本市で総残業時間が14.3%削減できればどれくらいの金額の削減になるか

答 時間数で約1,600時間の削減、手当の額は約400万円の減額になる。今後、姫路市の取組みは調査研究を行う。



▲映像はこちら

避難所の整備等の充実化を

福澤 信光



問 本市全体の避難所は幾つあるのか。避難所全てに避難所として機能しない場所はないか

答 本市が指定する避難所は54カ所ある。この指定避難所のうち、洪水浸水想定区域内に位置する避難場は14カ所、土砂災害警戒区域内に位置する避難所は4カ所ある。

問 避難所へ向かう手段の決まりはあるのか

答 自動車での避難は交通渋滞を引き起こし、緊急車両の通行の妨げになるおそれがあることから、災害時には基本的に徒歩での避難を呼びかけている。

問 避難所の設備や備蓄品について。山田の災害時備蓄倉庫には毛布・簡易トイレ・食料・発電機など2,300人を対象とした災害時の備蓄品があるが、本市の避難所全てにはどのようなものを置いているのか

答 備蓄の方法は、備蓄物資の効率的な分配の観点から、54カ所全ての避難所には備蓄していない。山田多目的倉庫と各コミュニティセンターの計5カ所に備蓄し、災害時には開設した各避難所にそれぞれの備蓄場所から移送する。





▲映像はこちら

災害時の子どもたちの安全確保

平田 不二香



問 防災に必要な備えを乳幼児を持つ保護者に周知する事が必要だと考えるが、本市の具体的な取り組みはどうか

答 乳幼児とその保護者向けの防災啓発事業が行われてきており、市では、一昨年度に要望のあった保育所で出前講座を実施しているが、防災意識の醸成等、その広がりを推進することが課題だと考える。災害への備えに不安を感じている保護者の関心も高まっており、今後はさまざまな機会を活用し、関係団体との連携を図りながら啓発を実施していきたいと考える。

問 妊産婦や乳幼児に配慮した避難所運営について、本市の見解を聞きたい

答 大野城市地域防災計画では、高齢者、障がいのある人、妊産婦、乳幼児など、あらゆる要配慮者に配慮した避難所運営に努めることとしている。各要配慮者の特性に応じた部屋割りや、授乳室

等の女性専用スペースを設置する。

問 乳幼児の避難所での栄養補給に液体ミルクと使い捨て哺乳瓶を備蓄品として追加する自治体の動きが始まっている。本市の備蓄状況はどうか

答 本市の備蓄計画では、人口に対する乳児の割合から、想定避難者数2,300人に対して30人分の乳児用備蓄を行う。今後備蓄量の増量などを検討していきたいと考える。



▲映像はこちら

シビックゾーン基本構想

田中 健一



問 市役所南側の広場を、災害時の避難場所やイベント時の利用からフラットな空間に整備する必要があるがいかかが

答 県有地を買い上げ、市民の憩いの場の屋外広場として、災害時の避難場所やイベント時等に一体的な利活用ができるよう、利用しやすさなどを勘案して整備する。また、防災拠点施設は、市役所南側広場の有効活用を勘案し、市役所本館南側の市有地部分に増築する。

問 シビックゾーンエリア内に安全で最適なバスの乗降場所を設け、合理的なバスの動線を確認する必要があるがいかかが

答 バスの動線を確認し、まどかぴあ南側の総合福祉センター前に3台分のバス専用乗降レーンを整備する。

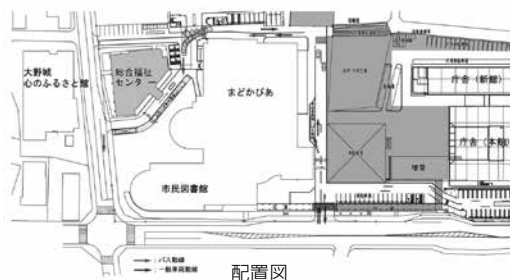
問 市庁舎等のシビックゾーンは、災害に耐えうるよう電線地中化すべきと考えるがいかかが

答 無電線化事業は、防災機能の強化等から非常に

有効と考えるが、現時点で行う予定はない。

問 ふるさと館の来館者等の安全確保や交通渋滞の対策として、空中回廊の設置や県道112号線と市道115号線の交差した信号機付き交差点の歩者分離が必要であると考えがいかかが

答 空中回廊は、来館人数の状況、今後の交通状況等を踏まえ、警察等関係機関との協議など総合的に勘案した上で検討を行う。信号機は歩者分離信号機等が考えられ、交差点の交通状況を注視し必要に応じて警察と協議をする。





▲映像はこちら

「重度障がい者」と暮らす家族への支援

河村 康之



問 重症心身障がい児・者本人に対して本市として様々な支援を行っていると思うが、介護をする家族に対しての負担軽減として本市の行っている支援は

答 家族への支援は、経済的な面で重度障がい児・障がい者介護手当の支給、レスパイトケアでは、短期入所や「日中一時支援」の活用による介護等の負担を支援している。

問 福岡県では医療的ケア児を対象にした「訪問型在宅レスパイト事業」を開始し、県内市区町村に導入の働きかけを行っているが本市はどの様に考えているか

答 訪問型在宅レスパイト事業は、市町村に対する補助事業として今年度から県が創設したが、国でも地域生活支援促進事業のメニューとして、市町村を実施主体とした医療的ケア児等総合支援事業を今年度新たに創設をした。国と県のそれぞれの事業内容を整理し、導入に向けて研究を進めている。

問 障がい児・者やその家族の突発的な事故等で相談・対応の出来る広域的な基幹相談支援センターの設置が急務であると思うが、どの様に考えているか

答 広域的な基幹相談支援センターの設置は、地域内の情報共有、支援内容の質の平準化、地域課題の抽出などすぐれていると考えられ、筑紫地区の地域自立支援協議会を通じて、継続的に設置の議論を行っている。今後も引き続き協議会の中で障がい福祉をめぐる地域課題の一つとしてしっかり議論を深めていきたいと考えている。



▲映像はこちら

子どもたちにとって望ましい校区制について検討を

松崎 百合子



問 複数の中学校へ進学は

答 複数の中学校へ進学する小学校は、大野北小学校と大野東小学校の2校。平成30年度末入学予定者調査では、大野北小学校から大野中学校へ15人、大野東中学校へ54人、御陵中学校へ37人。大野東小学校からは大野東中学校へ88人、御陵中学校へ21人。

問 各校の生徒数に関わる課題は

答 将来の児童・生徒数の動向を的確に把握し、教室等の教育環境の確保をすることが課題。

問 大野北小学校の場合、3つの中学校に校区が分かれるがいかがか

答 平成19年度に、大野城市立学校区審議会で、大野北小学校から大野中学校への進学予定者に御陵中学校への学校選択を認めることへの審議が行われた。選択制を適用する妥当性や有効性の観点から見送ることになった。

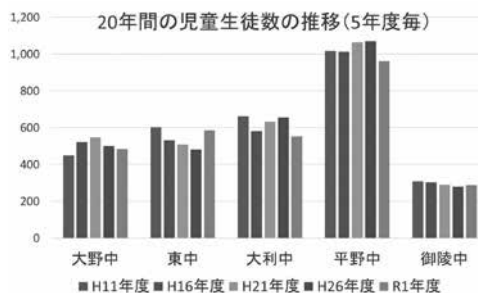
問 6年間一緒だった小学生が3つの中学校に分か

れる影響は

答 いろいろな友達と出会う機会があると前向きに捉えている。子どもたちが中学校生活に円滑になじんでいけるような学級編制を指導している。

問 校区の見直しについて

答 児童数の推移や地域からの要望の高まりなどに留意し、地域とともにある学校づくりの視点を踏まえて、望ましい校区のあり方などを検討していきたい。地域を代表する区長からの校区の見直しなどの提案があったら、前向きに意見交換を行いたいと考えている。





▲映像はこちら

公益活動促進プラットフォーム事業

関井 利夫



問 登録団体数及び登録者証(パスポート)発行数について

答 令和元年11月末現在で総合ポータルサイトの団体登録件数は59団体、まどかぶらっとの個人登録は1,508人、このうちスマートフォンのアプリは72人の登録がある。

問 ポイント付与の方法及び現在の状況について

答 まどかぶらっとの参加登録の方法は、コミュニティセンター窓口、総合ポータルサイト、スマートフォン専用アプリの3つがある。ポイント付与は活動団体に貸し出しているタブレット型の専用端末を使って、参加者が自分でまどぶらパスのQRコードを読み取り付与される仕組みである。令和元年11月末現在で、ポイントを付与されている人は971人、付与されたポイントの総数は7,447ポイントである。

問 ボランティアの作業に加えて新たにポイント付与できる事業を企画されているがどのようなものか

答 ポイントを付与する新たな事業は、特定健診やがん検診、市が指定する健康講座と運動教室などである。これらの健康づくり活動に参加した場合に健康ポイントを付与する健康づくりインセンティブ事業を令和元年6月に開始している。



パスポート

スマートフォン(タブレット)版



▲映像はこちら

健康で長生きするための取り組み

神田 徳良



問 がん検診の受診率向上のための取り組みで効果が出たものは

答 胃がん検診では、胃バリウム検診に加えて、新たに胃カメラ検診を導入したことにより前年度から受診者数が665人増加した。

問 特定健診の受診率向上のための取り組みは

答 特定健診を受診していない人への個別の通知を年3回、電話による案内を1回行っている。受診率の低い地域の方には訪問を行い、受診を勧奨している。

問 健康を維持するための適切な食生活のあり方について食生活改善のイベントや講習会はどのようなものがあるか

答 食生活改善に関する教室は、健康栄養クッキング教室、初心者のための男性料理教室、また「高齢者とのふれあい交流会」「健康・食育フェスティバル」などを開催している。

問 個人にあった適度な運動について

答 ウォーキングを推奨し「歩こう運動」、すこやか交流プラザの健康増進室での「健康度測定」や「健康増進教室」を実施し運動指導を行っている。



問 高齢者の地域活動や社会参加を促す活動について

答 高齢者の自主的・積極的な社会参加を推進する主体として市内各地でシニアクラブが活躍、また放課後総合学習ランドセルクラブでも多くの方が自身の知識・経験を活かし活躍している。



▲映像はこちら

西鉄高架工事遅延に対する県への対応を

井福 大昌



問 今回の工期の遅延は、新聞報道で発覚時期、箇所、経緯などなかったが、現時点で判明していることがあれば遅延期間も含めて共有してほしいがいかがか

答 10月31日に西鉄から県に対し、延長の協議の申し入れがあった。主な原因は、春日原駅の地下に、把握していなかった旧駅舎のコンクリート基礎が発見されたためとのこと。県は工期変更の理由と妥当性、工期短縮の可否について検証を行う検証委員会を設置し検討を開始している。工期は、検証委員会の結果を以って決定するため、現時点では未定であると聞いている。

問 今まで本市も多額の予算を計上していたが、遅れる期間分、本市の追加の出費はあるのか

答 事業費は増額すると想定されるが、その場合の追加予算は県と西鉄で責任を持って対応してもらいたいと考えている。

問 今回の遅延を受けて、西鉄や県に今後、どのような対応や要望を行っていくのか

答 本事業は、平成22年に工期が7年間延びることになり、平成30年末には物価の上昇等を理由に本市の負担金も増額となった。その際、条件として工期を厳守するよう申し入れを行なった。そのような中で、工期のさらなる延長は大変遺憾である。福岡県と西鉄には、早期に工期と延長理由を明確にし、負担金や延長による様々な影響に責任を持って対応していくよう強く申し入れた。



※白木原駅北側の完成イメージ



▲映像はこちら

子ども・親支援につながる「5歳児健診」を

大塚 みどり



問 小中学校特別支援学級の現況、教育環境の整備は

答 平成29年度が43学級201人、平成30年度は54学級243人、令和元年度は54学級で269人。空き教室等を改装し設備を準備している。

問 児童虐待に関する相談・通報件数、その内容及び傾向は

答 延べ相談件数は、平成29年度4,659件、平成30年度5,763件。対象児童の実人数は、平成29年度178人、平成30年度230人と増加傾向。面前DVを含む心理的虐待は、平成29年度43.2%、平成30年度50%で増加の傾向。児童虐待に関する意識の高まりにより相談や通報の周知が浸透していることも件数の増加につながっている。

問 葛飾区の5歳児健診事業は、子の発達状況を把握するため先にアンケートを送付し、保護者の心配・不安を確認する。その結果、児童虐待の予

防、発見につながっている。特別支援学級に在籍する児童・生徒が増えている本市として、5歳児健診を導入すべきと思うが市長の見解を

答 子ども相談センターや子育て世代包括支援センター、教育サポートセンターなど相互に連携し、就学前から就学後にかけて、きめ細やかな子育て支援を実施していきたい。5歳児健診は、子育て世代のさまざまなニーズ、本市の傾向や実態、また先進地の自治体の事例等も調査し研究を進めたい。



12月定例会

令和元年12月定例会を12月2日(月)から12月17日(火)まで開催
24の案件を審議し、全て可決・承認・許可。報告が1件。12人の議員が一般質問。

審議結果一覧

令和元年第6回12月定例会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
第73号議案	大野城市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画委員会
第74号議案	大野城市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	//
第75号議案	大野城市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	//
第76号議案	大野城市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	都市環境委員会
第77号議案	大野城市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	//
第78号議案	工事請負契約の変更について	原案可決	福祉文教委員会
第79号議案	令和元年度大野城市一般会計補正予算(第5号)について	原案可決	予算委員会
第80号議案	令和元年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	//
第81号議案	令和元年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	//
第82号議案	令和元年度大野城市水道事業会計補正予算(第3号)について	原案可決	//
第83号議案	令和元年度大野城市下水道事業会計補正予算(第3号)について	原案可決	//
第84号議案	大野城市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画委員会
第85号議案	大野城市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	//
第86号議案	大野城市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	//
第87号議案	令和元年度大野城市一般会計補正予算(第6号)について	原案可決	予算委員会
第88号議案	令和元年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	//
第89号議案	令和元年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第4号)について	原案可決	//
第90号議案	令和元年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	//
第91号議案	令和元年度大野城市水道事業会計補正予算(第4号)について	原案可決	//
第92号議案	令和元年度大野城市下水道事業会計補正予算(第4号)について	原案可決	//
報告第14号	専決処分の報告について(公用車の交通事故による損害賠償の額の決定及び和解について)	報告	—
意見書案第2号	福岡県に、西鉄天神大牟田線連続立体交差事業の工期延長における、工期短縮及びあらゆる影響に責任ある対処を求める意見書の提出について	原案可決	—
—	発言の取消しについて	許可	—
—	議員の派遣について	承認	—

意見書案第2号（令和元年第6回12月定例会）

会派名	自民令和					自民まどか			自民大野城			公明党			改革フォーラム			市民クラブ		
議員氏名	関井利夫	山上高昭	森和也	原田真光	平田不二香	田中健一	中村真一	渡邊知之	岡部和子	平井信太郎	井福大昌	大塚みどり	井上正則	河村康之	神田徳良	関岡俊美	松田美由紀	松崎百合子	福澤信光	松崎正和
	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(○：賛成、●：反対、—：議長は表決に加わらないため)

陳情関係（全議員に写しを配布）

陳情第11号	令和2年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願
陳情第12号	学校教材の計画的な整備推進についてのお願
陳情第13号	「国による妊産婦医療費助成制度創設」並びに、「福祉医療制度の実施に伴う国保国庫負担金の削減措置廃止」を求める自治体意見書採択についての陳情書
陳情第14号	治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を支持し、政府に対し意見書提出に関する請願書
陳情第15号	高齢者自動車免許証の返納、及び補助についての陳情書

議会の動き

- 11月25日 議会運営委員会
会派代表者会
広報委員会
- 12月2日 本会議(初日)
全員協議会
交通ネットワークとまちづくりを
考える調査特別委員会
- 5日 本会議(2日目)
議会運営委員会
交通ネットワークとまちづくりを
考える調査特別委員会
- 6日 総務企画委員会
福祉文教委員会
- 9日 都市計画委員会
会派代表者会
広報委員会

- 10日 予算委員会
- 11日 市民に開かれた議会を
つくる調査特別委員会
- 12日 本会議、(3日目、一般質問)
- 13日 本会議、(4日目、一般質問)
議会運営委員会
- 17日 本会議(最終日)
議会運営委員会
全員協議会



12月定例会では、1件の意見書を可決し、
大野城市議会としての意見・要望を福岡県に提出しました。

福岡県に、西鉄天神大牟田線連続立体交差事業の工期延長における、
工期短縮及びあらゆる影響に責任ある対処を求める意見書

現在、福岡県が事業主体として施行している西鉄天神大牟田線連続立体交差事業は、踏切による渋滞等の交通問題の解消や魅力あるまちづくりを目指して、昭和60年に大野城市と春日市とに於いて予備調査を実施したときから大きな歩みを始めた。平成元年度には、都市計画マスタープランに位置付けるなど両市は事業実施に向けて取り組んできた。その後、平成13年度に都市計画決定し、平成15年度に事業認可を受け事業が開始された。

平成22年には、新たに福岡市が参加し雑餉隈駅付近の連続立体交差事業も施行されることにより、事業完了が平成26年から令和3年まで7年延びる工期の延長を受け入れた。

さらに、昨年末には人件費や物価の上昇等の理由から、事業費の増額変更に伴う本市負担金増額の申し出があり、これについてもやむを得ないと判断し受け入れたが、工期は厳守するよう強く申し入れた。

本市は、鉄道高架事業にあわせて、区画整理事業や街路事業等の都市基盤整備事業を推進しており、大変多くの関係者の多大のご協力をいただいている。

また、高架下と周辺の整備と活用を図り、中心市街地の賑わいとやすらぎあるまちづくりを行うために、市民の皆様のご意見をいただきながら計画策定等を進めるなど、準備を進めている。

そのような中、福岡県において連続立体交差事業の工期延長について、検証委員会にて検討が行われると聞き及んでいる。

大野城市議会としては、連続立体交差事業をまちづくりの根幹に係わるものであると認識しており、工期の延長による影響は甚だ大きく、市民の皆様の期待に反して、大変大きな損失になるものと憂慮している。

よって、事業主体である福岡県に対し、工期短縮に向け様々な検討を行い、1日も早い事業の完了と、工期延長によるあらゆる影響に対し、責任を持って対処されることを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月17日

福岡県知事 小川 洋 様

大野城市議会議長 山 上 高 昭

作品紹介

短歌

- 南ヶ丘一区で暮らす喜びは近隣の触れ合い優しくありて
- 立秋過ぎ今宵の月は青白き遠くに見えて近くにも見ゆ
- 「今何歳？」お子らに聞かれ「一歳」と「エーン エーン」と泣き真似に笑い
(緑ヶ丘 平井静代さん)
- 父母眠り思ひ出よりそふ日本海われを育てし能登といふ国
- 五百年の歴史ののちに対きあへり生家に蓮如の掛軸ありて
- 除夜の鐘とほく聞きつつ眠るときわれに故郷がある事を知る (若草 高名稔さん)

イラスト



(南ヶ丘 そうそうさん)

川柳

- 筆一本 思いのままに 綴りおり
- 節約も すれば楽しい 令和年
- 台風よ 大暴れせず 去つとくれ
(緑ヶ丘 平井静代さん)
- 眠たいと 思ったときに 寝るチャンス
(南ヶ丘 そうそうの娘さん)
- 川柳の ひらめき神の 贈り物
- 約束は 忘れてないよ この小指
(南ヶ丘 そうそうさん)
- 食器棚 いつしか今じゃ 葉箱
- 蹴飛ばした 銀杏の葉っぱ 蝶になる
- バリアフリー 終えた我が家でなぜ転ける
(大城 すつびんの昭さん)
- 伸びしろに ときめくタウン 大野城
- 迷子座や 民話の里の タスケ岩
- 響きあふ 乙金〜牛頸 天狗松
(乙金台 泉満夫さん)

作品掲載希望者募集

議会だよりでは、みなさんからいただいた作品を紹介します。

- 募集作品(未発表のものに限ります)
 - ・俳句・川柳・短歌・写真・イラスト
- 応募方法 住所、氏名、電話番号を記入して、議会議務局「議会だより作品募集」係へ郵送または直接窓口へ 〒816-8510 大野城市曙町二丁目2番1号 Tel. 580-1938
- 注意事項
 - ・未発表のものに限ります
 - ・人物の写真については、掲載の了解を得てください。
 - ・提出された作品は、返却しません。
 - ・ペンネームでも可とします。
 - ・応募多数の場合は広報委員会が厳選して決定します。あらかじめご了承ください。



俳句

- 令和年 千支は早くも 子の年で
- 彼岸花 真っ赤なドレスで ようこそと
(緑ヶ丘 平井静代さん)
- 朝露の 山裾濡らす 山水画
- 霊木に 深き一礼 淑気満つ
- 孫たちの 手形を残し 煤払い
(大城 すつびんの昭さん)

●応募締切

5月15日号掲載は3月12日まで



広報委員会

委員長	井上正則
副委員長	福澤信光
委員	関井利夫
委員	原田真光
委員	渡邊知之
委員	平田不二香

あんてな

2019年5月に令和を迎え、2020年令和2年が始まりました。今年の干支は「子」。干支の始まりであり、ある意味で、本格的に始動の年となる2020年は、東京オリンピックも開催されます。

2019年のラグビーワールドカップ™で国民が一つになる事が出来た感動をもう一度…これからも、あらゆることを通し、皆で力を合わせ、手を取り合い、誰もが幸せになれる、そんな2020年になる事を切に願います。

(福澤 信光)